

## 地域別構想の策定

以下の方針は、富田林市のまちづくりを進めるうえで、市域を8つの地域に区分し、地域固有の課題を抽出し、市民の参加により整備方針を定めたものである（図 地域別構想策定手順）。地域特性に応じた面的整備や景観形成の誘導、自然環境の保全等各部門別の整備方針を各地域ごとに総合的にまとめ、構想を提示した。

1章のなかでも述べたように、これらの方針は今後の地域別の具体的なまちづくり活動に結びついてこそ意味がある。従って、具体的なまちづくり活動により、さらに詳細な計画となってこそこれらの方針は意味を持つのである。

なお、以下の方針は、地域固有の課題、方針を挙げたものである。市全域に共通するものについては、全体構想における部門別方針のなかで示したので本章では扱わないものとする。

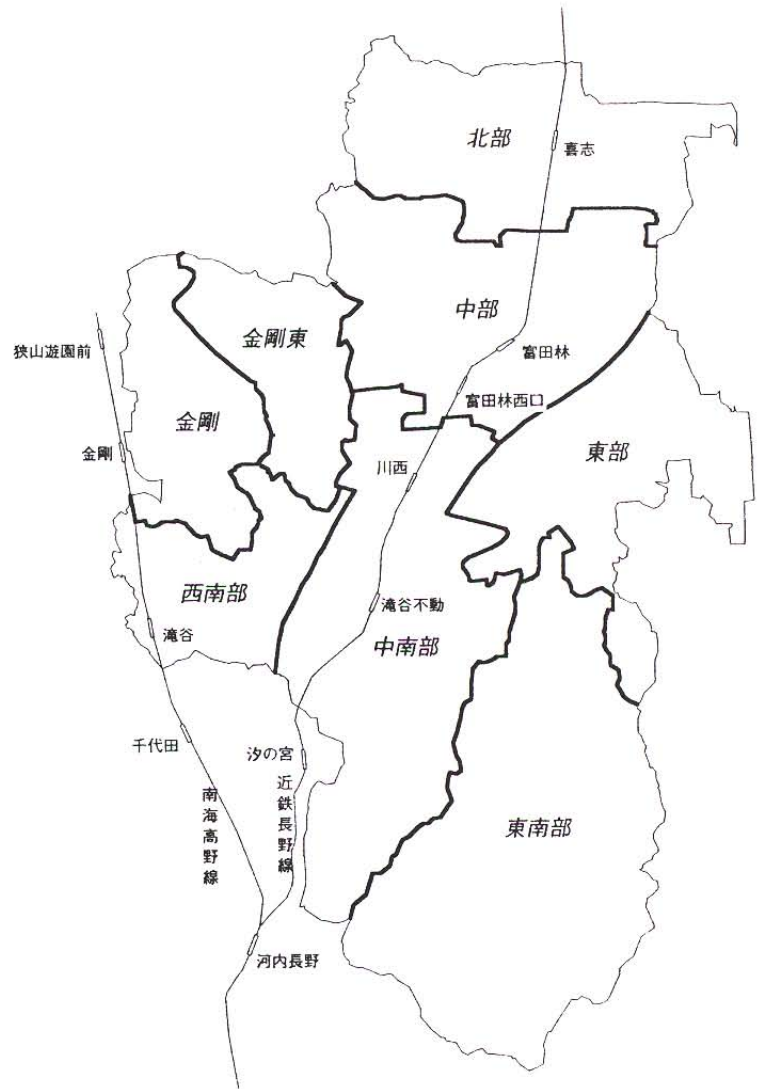


図 3章 -1 地域区分図

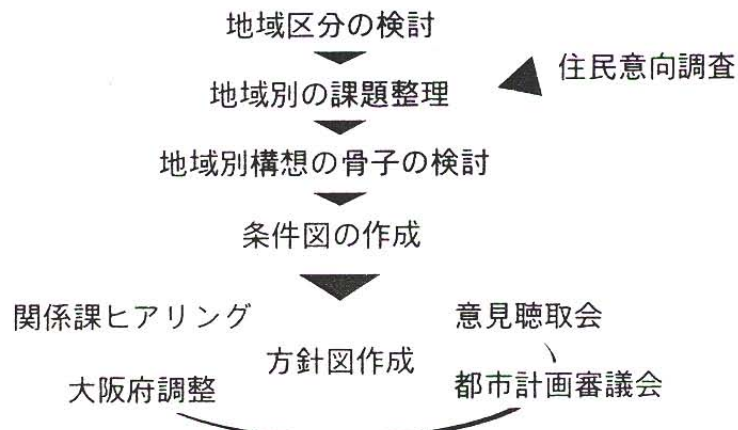


図 3章 -2 地域別構想図策定手順

## 1 北部地域

### (1) 地区の現状と特性

喜志駅周辺の住商混在地、東部の旧市街地、西部の新市街地及び市街化調整区域のまとまった農地から形成されている。人口は、約15千人で緩やかな増加傾向が続いている。

近年、東西を結ぶ動線強化の一環として、喜志駅駅前では公共施設整備が進んでいる。すでに駐輪場及び道路、交通広場の一部が整備済みで、引き続き道路、交通広場が整備中である。

また、地区南部には歴史・文化資源として古くから親しまれてきた美具久留御魂神社と粟ヶ池共園内に設けられた市民会館が位置する。しかしこれらの資源は、農地と大阪外環状線により駅周辺とは分断されているのが現状である。



#### ◆地域の名所、風景

遠景の金剛山系、石川沿いの水辺の風景、美具久留御魂神社、粟ヶ池共園の水辺の風景

#### ◆ゾーン区分

- ・喜志駅周辺の住商複合市街地
- ・市街化調整区域の農地と点在する旧集落地
- ・旧集落地を中心とする既成市街地
- ・計画的住宅開発団地
- ・P L教団

### (2) 代表的な市民意見

- ・駅前広場や東西道路のバランスを考えた整備
- ・良好な住宅地の中央を通る喜志美原線の交通量が多いため、迂回道路の設置が必要（梅の里の住民多数から）
- ・梅の里地区での福祉会館等の施設整備
- ・東西の道路が混雑するため、生活道路に通過交通が発生し危険であり、早急に富田林太子線の大阪外環状線までの延伸を望む（旧市街地の住民から）
- ・大阪外環状線周辺の市街化区域編入の検討（市街化調整区域住民から）

### (3) 整備の方針

#### ●まちづくりの目標

喜志駅周辺の地域生活拠点の形成、周辺の旧市街地の修復、自然的環境や住環境の保全など、新旧の要素が緩やかにつながったまちづくり

#### ●まちづくりの方針

##### ①地域核としての喜志駅周辺市街地の形成

- ・駅前広場及び関連道路の整備
- ・駅周辺の住商複合地は、地域の生活拠点として商業と住居施設が複合している。バイパス（富田林太子線の整備）整備による駅前の通過動線の排除、府道美原太子線の歩道整備など安全性と利便性の高いエリアをめざす。
- ・駅南部の市街化調整区域では、市民意向をふまえた土地利用の検討を行う。市街化区域の編入には、面的整備手法を導入し、立地条件の良さを生かし良好な市街地へと誘導することが必要条件になる。

##### ②美具久留御魂神社・市民会館周辺

- ・駅南部の面的整備に合わせ、喜志駅、市民会館と美具久留御魂神社を結ぶ歩行者系のネットワークを検討する。

##### ③東西動線の確保と安全性の向上

- ・東西方向の交通動線をスムーズに行えるよう、富田林太子線を延伸して大阪外環状線へ接続する。道路の構造については、周辺環境や景観への配慮を充分行う必要がある。

##### ④良好な住宅・住環境の保全

- ・梅の里地区では、建築協定の継続・更新をめざし、住環境保全と地区周辺の斜面緑地の保全を検討する。

##### ⑤既成市街地での修復的住環境整備

- ・旧集落地を中心、住環境の改善や防災への取り組みを強化するため、生活道路等の要整備地区として位置づけ、改善方策を検討する。

##### ⑥市街化調整区域の良好な土地利用の検討

- ・喜志駅周辺、大阪外環状線沿道の基盤整備について、計画的な市街地形成を図るため、実現化方策の検討（営農者等の意向の把握、面的整備の可能性の検討など、今後の土地利用の方針を検討する）

##### ⑦市街化調整区域の自然的環境の保全

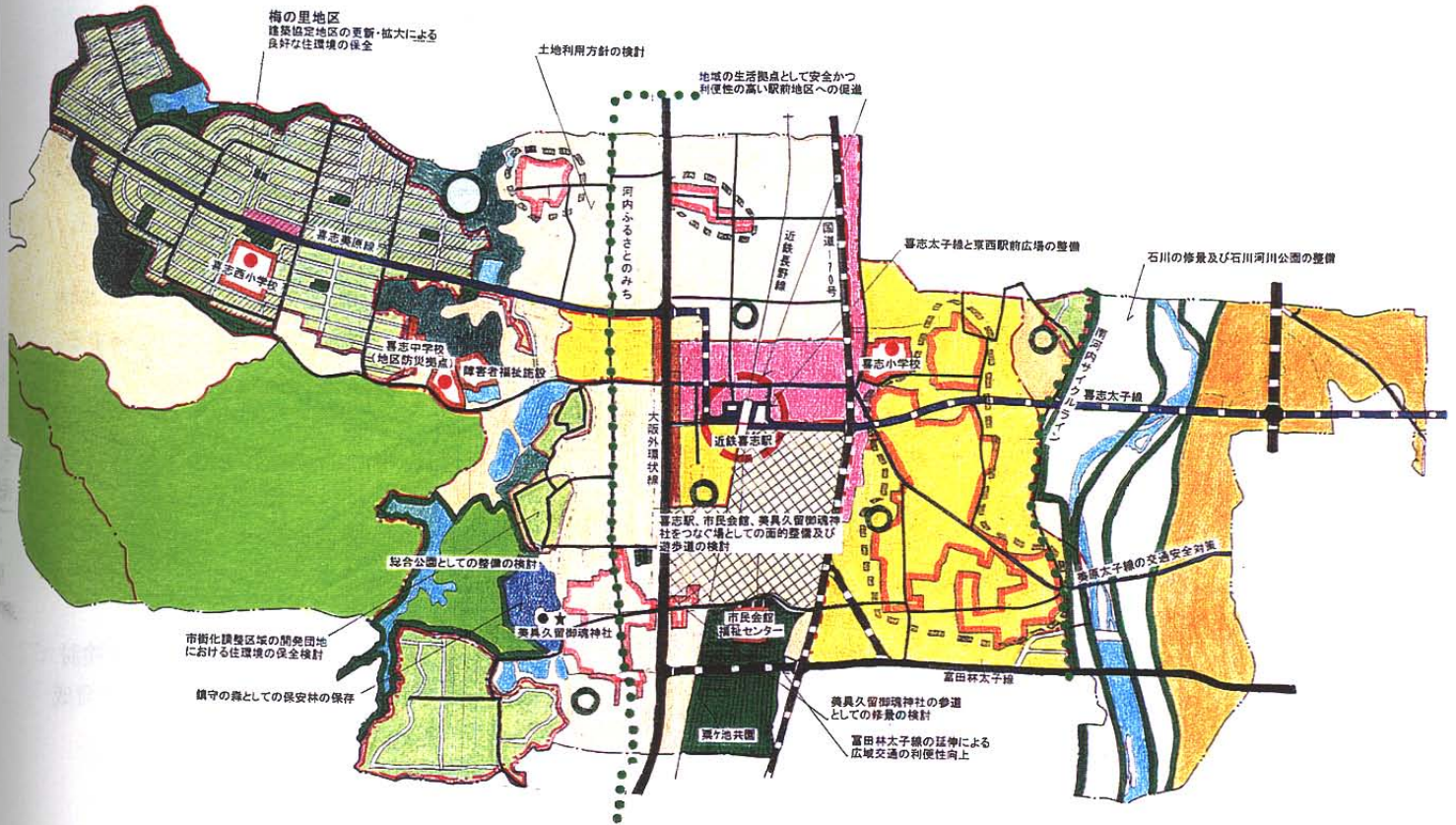
- ・鎮守の森としての美具久留御魂神社周辺の保安林の保全及び周辺の総合公園の整備の検討

### (4) 今後の課題

- ・駅南部の市街化調整区域及び地域の東西を結ぶ各道路の位置づけが地区全体の将来のあり方に大きく関わってくる。営農者をはじめ、まち全体で、まちの将来像、まちづくり手法を検討し、合意形成するための場をつくることが早急の課題である。
- ・梅の里周辺の斜面緑地の保全手法の検討
- ・梅の里等の建築協定締結地区では、協定の継続時に、住民が主体となって、地区計画の指定を検討する必要がある。



# 地域別方針図 [北部地域]



|                        |  |                   |  |
|------------------------|--|-------------------|--|
| 住宅ゾーン                  |  | 都市の骨格となる道路        |  |
| 低層住宅エリア                |  | (完成)              |  |
| 中低層住宅エリア               |  | (計画)              |  |
| 中高層住宅エリア               |  | 地区の骨格となる道路        |  |
| 計画的開発地                 |  | (完成)              |  |
| 住環境の保全(建築協定締結地区)       |  | (計画)              |  |
| 旧集落地                   |  | 生活道路              |  |
| 商業ゾーン                  |  | 鉄道                |  |
| 商業・業務集積エリア             |  | 歩行者・自転車ネットワーク     |  |
| 住宅・商業複合エリア             |  | 公園・緑地             |  |
| 工業ゾーン                  |  | (完成)              |  |
| 工業施設集積エリア              |  | (計画)              |  |
| 住宅・工業複合エリア             |  | 主な水面(石川、ため池等)     |  |
| 沿道サービスゾーン              |  | 地域核等拠点地区          |  |
| 農業ゾーン                  |  | 生活道路、一時避難場所等要整備地区 |  |
| 農用地としての保全エリア           |  | 要面的整備地区           |  |
| その他農地の保全・活用エリア         |  | 主要公共公益等施設         |  |
| 緑地ゾーン                  |  | 指定避難場所            |  |
| 自然保全エリア                |  | 歴史・文化資源           |  |
| 公園・レクリエーション環境の保全・創出エリア |  | 保存樹林・保存樹木         |  |
| 斜面緑地等の保全・活用エリア         |  | レクリエーション施設        |  |
| 土地利用方針・整備手法検討ゾーン       |  | 主な山頂              |  |
| 市街化区域界                 |  |                   |  |

※) 凡例についての詳細は章末(p.58、p.59)を参照



図 3 章 -3 地域別方針 [北部地域]

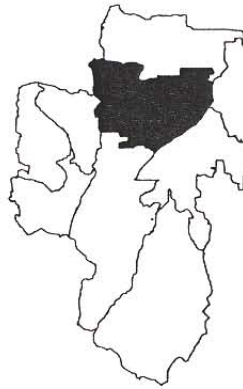


## 2 中部地域

### (1) 地区の現状と特性

寺内町をはじめ歴史的な市街地やお亀石古墳、新堂廃寺が、河内ふるさとのみちに沿って南北に連担している。人口は、約19千人で減少傾向にある。

地区南部には、市役所等の市民サービスや行政管理施設が集積している。核となる富田林駅は、金剛、近鉄バスのターミナルで、交通結節点として市全体での重要な位置を占めている。また、石川沿いには、富田林中小企業団地があり、工業や関連流通施設が多く集積している。大阪外環状線沿いは、沿道型の商業施設等の立地が増加している。



#### ◆地域の名所、風景

遠景の金剛山系、石川沿いの水辺の風景、寺内町のまちなみ、P L平和祈念塔、お亀石古墳、新堂廃寺

#### ◆ゾーン区分

- ・ 駅周辺の商業、業務施設集積地区
- ・ 富田林寺内町等の旧市街地
- ・ 公共、公益施設の集積するシビックゾーン
- ・ 大阪外環状線沿道のロードサイド型商業集積ゾーン
- ・ 富田林中小企業団地
- ・ P L教団、ゴルフ場

### (2) 代表的な市民意見

- ・ 旧市街地を通る生活道路での歩行者の安全対策及び通過交通を処理するための道路整備
- ・ 富田林駅南地区市街地再開発について、安全で安心して暮らせるまちとして、24時間人のいるまちを望む
- ・ コミュニティの場の形成のため、商業や工業といった大きなゾーンに区分するよりも、ある程度の住・商・工の混在を望む
- ・ 大きな商業ゾーンより教育ゾーンとしての整備
- ・ 石川河川において、川に棲む小動物と触れ合うことができるよう工夫すべき
- ・ 富田林中小企業団地横の竹やぶは、グリーンベルトであり、住環境保全上、防災上重要
- ・ 市街地の農地は、交換分合などを活用し、残すところと転用するところをきっちりと計画し、公園としての確保も考慮すべき
- ・ 伝建地区に指定され寺内町を訪れる人が多くなるので、寺内町の中を通る道に対しての対策が必要

### (3) 整備の方針

#### ●まちづくりの目標

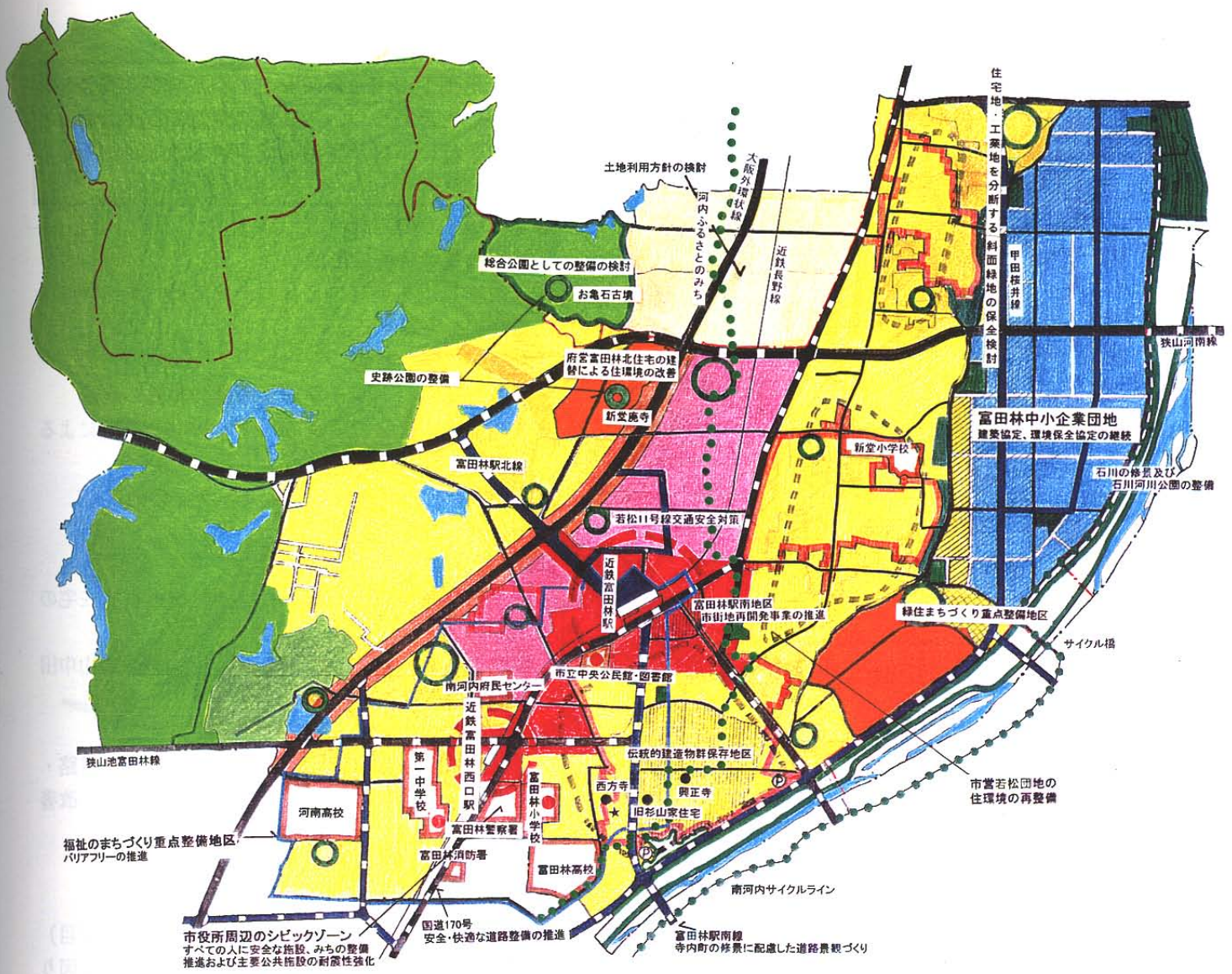
歴史的まちなみと石川や保存樹木など自然的景観と中心性の高い市街地の調和をめざす。また、多くの市民利用施設が集積するシビックゾーンとして、福祉のまちづくりを促進し、快適な市街地にしていく。

#### ●まちづくりの方針

- ①富田林寺内町の歴史的まちなみの保存、修復的整備
    - ・ 観光に偏重せず、住民の生活を重視した保全
    - ・ 寺内町の町並み保全をにらみ、地元の防災組織強化の必要から町ぐるみでの防災の推進
    - ・ 小型消防車やポケットパーク設置による防災性能の向上
    - ・ 寺内町周辺地区での駐車場整備の促進
    - ・ 散策のネットワークを担う道路を位置づけ、寺内町の町並みを意識した遊歩道の整備等を推進する。
  - ②富田林、富田林西口駅周辺の拠点整備
    - ・ 富田林市の核として、寺内町の入り口として都市基盤の整備を行い、中心的機能の強化を図る。
    - ・ 福祉のまちづくり重点地区の整備促進
  - ③富田林駅南地区市街地再開発事業
    - ・ 歴史的景観や環境に配慮した道路計画及び沿道の土地利用や建築物のデザインを検討
    - ・ 駅南北の動線をつなぐためデッキ等の設置を検討
    - ・ 再開発事業区域及び駅周辺の地元商業組織の育成を誘導
  - ④旧市街地での住環境等改善
    - ・ 主要な生活道路の安全性の確保
    - ・ 集落単位で住環境の改善や防災への取り組み強化
  - ⑤面的整備の検討、推進
    - ・ 府営富田林北住宅、富田林東住宅の建替による住宅、住環境の改善及び市営若松団地の住環境の再整備
    - ・ 緑住まちづくり重点整備地区（若松東地区）の面的整備検討
    - ・ 地区北部、土地利用方針・整備手法検討ゾーンにおいて、面的整備等の可能性についての営農者等の意向把握、今後の土地利用方針について検討
  - ⑥富田林中小企業団地と周辺住環境との共存
    - ・ 環境保全協定の継続と更新
    - ・ 富田林中小企業団地と旧市街地の間の斜面緑地の保全検討
  - ⑦史跡公園の整備
    - ・ お亀石古墳、新堂廃寺等の重要遺跡を保全し、歴史学習の場として史跡公園を整備
- ### (4) 今後の課題
- ・ 住民参加による寺内町及びその周辺地区での将来像の検討及び共有化
  - ・ 富田林中小企業団地西側の斜面緑地の保全手法の検討



# 地域別方針図 [中部地域]



|                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 住宅ゾーン                  | 都市の骨格となる道路        |
| 低層住宅エリア                | (完成)              |
| 中低層住宅エリア               | (計画)              |
| 中高層住宅エリア               | 地区の骨格となる道路        |
| 計画的開発地                 | (完成)              |
| 住環境の保全(建築協定締結地区)       | (計画)              |
| 旧集落地                   | 生活道路              |
| 商業ゾーン                  | 鉄道                |
| 商業・業務集積エリア             | 歩行者・自転車ネットワーク     |
| 住宅・商業複合エリア             | 公園・緑地             |
| 工業ゾーン                  | (完成)              |
| 工業施設集積エリア              | (計画)              |
| 住宅・工業複合エリア             | 主な水面(石川、ため池等)     |
| 沿道サービスゾーン              | 地域核等拠点地区          |
| 農業ゾーン                  | 生活道路、一時避難場所等要整備地区 |
| 農用地としての保全エリア           | 要面的整備地区           |
| その他農地の保全・活用エリア         | 主要公共公益等施設         |
| 緑地ゾーン                  | 指定避難場所            |
| 自然保全エリア                | 歴史・文化資源           |
| 公園・レクリエーション環境の保全・創出エリア | 保存樹林・保存樹木         |
| 斜面緑地等の保全・活用エリア         | レクリエーション施設        |
| 土地利用方針・整備手法検討ゾーン       | 主な山頂              |
| 市街化区域界                 |                   |



※) 凡例についての詳細は冊末(p.58, p.59)を参照

図 3 章 -4 地域別方針【中部地域】

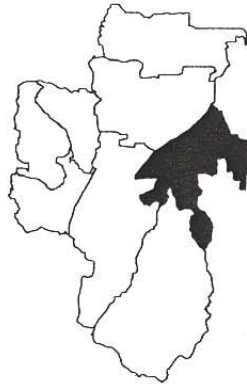


### 3 東部地域

#### (1) 地区の現状と特性

石川とその支流である佐備川、宇奈田川、千早川が南北に流れ、区域の北部は比較的平坦で、南部は丘陵地など起伏に富んでいる。人口は、約16千人で緩やかな人口増加が続いている。

国道309号や府道甘南備川向線沿いなどに市街地が拡がり、市街化区域に指定されている。それらの市街地では、旧集落地や府営住宅団地、民間住宅団地が点在し、宅地化農地での戸建て住宅を中心とした開発が続いている。市街化調整区域は、平坦な農地と丘陵地からなり、多くが農用区域になっている。南大伴町ではまとまった規模の団地開発が進んでいる。



#### ◆地域の名所、風景

遠景の金剛山系、石川沿いの水辺の風景

#### ◆ゾーン区分

- ・農地と住宅市街地のモザイク状の混在地
- ・石川及び小河川沿いの地区
- ・小高い丘陵地と住宅団地
- ・府営住宅団地

#### (2) 代表的な市民意見

- ・国道及び府道沿いに市街地が広がっているため、歩道設置等の交通安全対策
- ・河川に沿ったゆったりとした遊歩道の整備
- ・公共施設へのアクセス（バス等）の確保
- ・自然を大切に地域特性を残す整備
- ・下水道の早期整備、公民館等の住民が憩える施設及び公園の整備

#### (3) 整備の方針

##### ●まちづくりの目標

身近な田園や河川、丘陵などの自然環境の保全と修復的整備を進めつつ、市街地の生活道路や公園緑地の整備を行い、日常生活の安全性と快適性の改善を図る。

##### ●まちづくりの方針

##### ①地域の生活中心の形成

- ・（仮称）川東地区コミュニティ施設（南大伴町4丁目）を整備する。

##### ②幹線道路等の整備

- ・国道309号（大阪千早線）の延伸整備の促進
- ・甘南備川向線、旧国道309号の歩道設置等による安全性の改善
- ・富田林中心部へのアクセシビリティの向上
- ・バス運行の強化検討

##### ③面的整備の促進

- ・府営富田林北大伴住宅、市営東板持災害者住宅の建替
- ・緑住まちづくり重点整備地区の面的整備（山中田地区）の実現

##### ④旧集落地の修復的整備

- ・生活道路等が不足している地区を生活道路・一時避難場所等要整備地区として位置づけ、改善策を検討
- ・公園、まちかど広場等の整備促進

##### ⑤市街化調整区域での土地利用の誘導

- ・市街化調整区域での面的開発（南大伴町4丁目）の計画的誘導により、自然的景観との調和を図りながら良好な市街地を形成する。
- ・市街化調整区域の営農環境の保全

##### ⑥河川等の水辺の整備

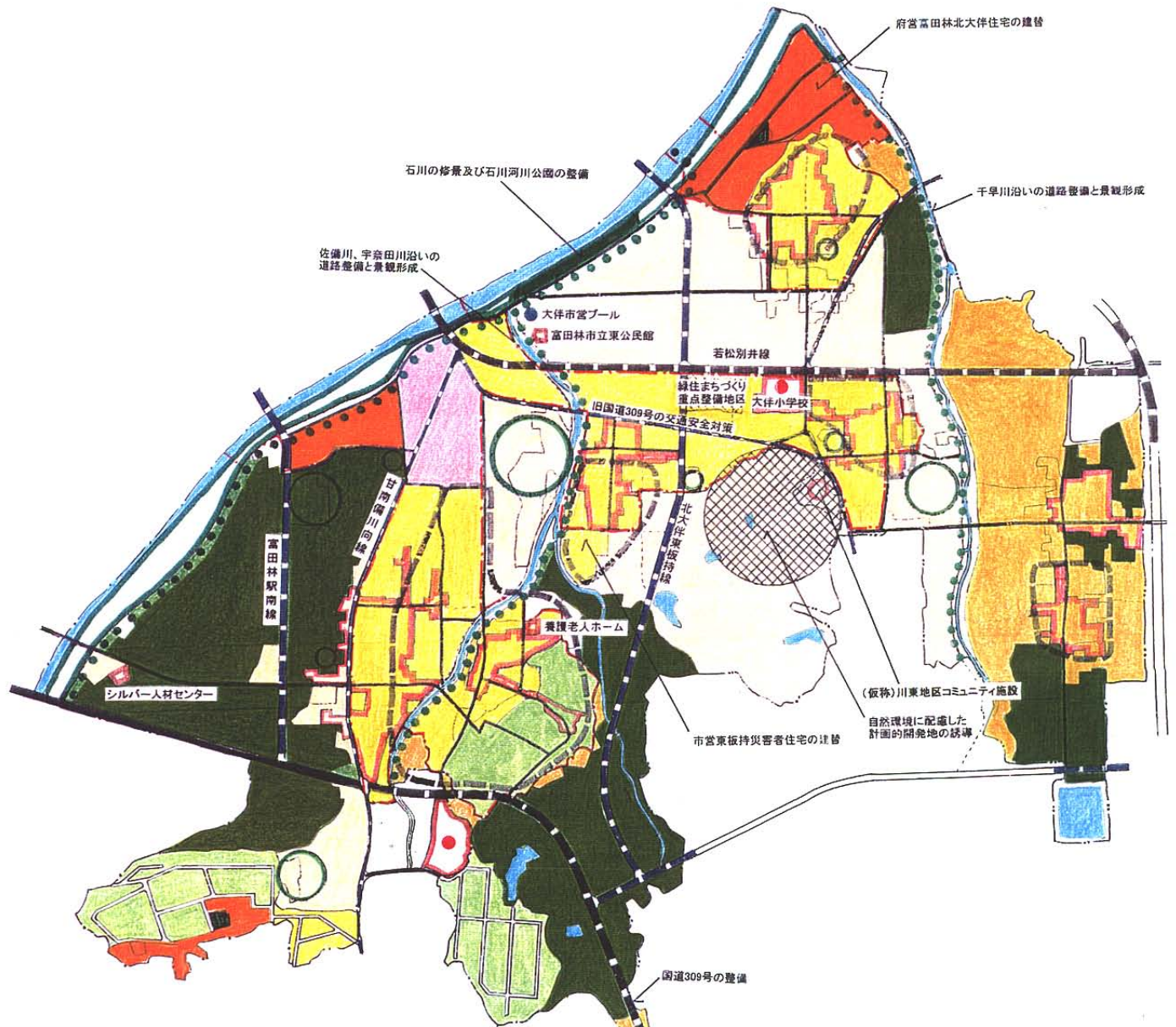
- ・石川河川公園の整備に加え、佐備川、千早川、宇奈田川の河川沿いの道路、遊歩道の整備及び修景整備の検討

#### (4) 今後の課題

- ・生活道路、一時避難場所等要整備地区では、修復的整備手法を検討する必要がある。話し合う場として、住民組織を立ち上げることが急がれる
- ・将来的に営農環境を守るためには、農業用水、まとまった農地等を担保していく必要がある。そのためには、市街化調整区域内での秩序ある土地利用誘導方策を検討する必要がある。



# 地域別方針図 [東部地域]



|                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 住宅ゾーン                  | 都市の骨格となる道路        |
| 低層住宅エリア                | (完成)              |
| 中低層住宅エリア               | (計画)              |
| 中高層住宅エリア               | 地区の骨格となる道路        |
| 計画的開発地                 | (完成)              |
| 住環境の保全(建築協定締結地区)       | (計画)              |
| 旧集落地                   | 生活道路              |
| 商業ゾーン                  | 鉄道                |
| 商業・業務集積エリア             | 歩行者・自転車ネットワーク     |
| 住宅・商業複合エリア             | 公園・緑地             |
| 工業ゾーン                  | (完成)              |
| 工業施設集積エリア              | (計画)              |
| 住宅・工業複合エリア             | 主な水面(石川、ため池等)     |
| 沿道サービスゾーン              | 地域核等拠点地区          |
| 農業ゾーン                  | 生活道路、一時避難場所等要整備地区 |
| 農用地としての保全エリア           | 要面的整備地区           |
| その他農地の保全・活用エリア         | 主要公共公益等施設         |
| 緑地ゾーン                  | 指定避難場所            |
| 自然保全エリア                | 歴史・文化資源           |
| 公園・レクリエーション環境の保全・創出エリア | 保存樹林・保存樹木         |
| 斜面緑地等の保全・活用エリア         | レクリエーション施設        |
| 土地利用方針・整備手法検討ゾーン       | 主な山頂              |
| 市街化区域界                 |                   |

※凡例についての詳細は章末(p.50, p.59)を参照

図 3 章 -5 地域別方針【東部地域】



## 4 中南部地域

### (1) 地区の現状と特性

石川による河岸段丘の形成が顕著に見られ、地区の中心を流れる石川から、両岸に農地、市街地、丘陵地が順に位置している。右岸の嶽山（標高 276m）は、小高い丘となっているため電車・車からよく目につき、地区のランドマークとなっている。人口は約 18 千人で、近年では平成 3 年の大規模マンションの建設が人口増につながっているものの、それを除けば横這いもしくは減少傾向にある。

市街地は、左岸の高野街道、近鉄長野線に沿って旧集落を核に広がった一般市街地と右岸の高橋近辺、計画的開発地区等に広がっている。また大阪外環状線沿道には、すばるホールをはじめ、公共・公益施設が位置している。滝谷不動では、毎月 28 日、「お不動さん」として親しまれる縁日で、にぎわいを見せている。



#### ◆地域の名所、風景

遠景の金剛山系、石川沿いの水辺の風景、滝谷不動明王寺、すばるホール、錦織神社、嶽山・金胎寺山

#### ◆ゾーン区分

- ・滝谷不動駅、川西駅周辺の混在市街地
- ・戸建て開発団地
- ・農業ゾーン
- ・自然保全エリア
- ・公園・レクリエーション環境の保全・創出エリア

### (2) 代表的な市民意見

- ・旧集落地における生活道路の整備と通過交通対策及び学生の通行が多い道路（滝谷不動駅周辺、府道森屋狭山線）の交通安全対策
- ・滝谷不動駅から大阪外環状線までのバイパス整備
- ・防災対策として嶽山、金胎寺山の開発規制と保全
- ・地区東部丘陵部の大規模開発（住宅開発）の要望
- ・浸水対策の推進
- ・公共施設利用の利便性の向上及び、錦織地区におけるレインボーバスの運行

### (3) 整備の方針

#### ●まちづくりの目標

豊かな歴史的環境を守りつつ、駅周辺を中心に生活拠点としてのまとまりのあるまちづくりを目指す。

#### ●まちづくりの方針

- ①地域拠点としての滝谷不動駅周辺および川西駅周辺整備の推進
  - ・国道 170 号の整備に合わせ、地域核としての生活拠点整備を検討する。
  - ・府道森屋狭山線を滝谷不動明王寺の参道に相応しいみちとして、安全対策及び修景整備をめざす。
- ②旧集落地を中心とする住宅密集地の整備
  - ・錦織神社周辺から錦郡小学校周辺にかけて、旧集落地を中心に広がっている消防活動困難区域を、生活道路、一時避難場所等の要整備地区として位置づける。
- ③市街化調整区域における土地利用の保全と整備
  - ・土地利用方針・整備手法検討ゾーンにおいて、面的整備等の可能性についての営農者等の意向把握、今後の土地利用方針について検討
  - ・彼方周辺緑地ゾーンにおける緑地保全手法の検討
  - ・嶽山、金胎寺山一帯の自然環境の保全及び特殊公園としての整備の検討。
  - ・嶽山、金胎寺山周辺の自然災害の危険がある地区では、土石流等自然災害対策を進める。
  - ・市営錦織住宅南部の斜面地は、砂防指定区域として防災上保全を計るとともに、植栽等により身近な緑地としての修景をめざす。

#### ④農業環境の整備・保全

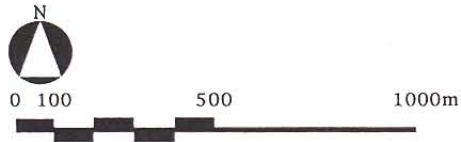
- ・農業ゾーンにおいて、良好な近郊農業地帯としての農業環境の保全、整備を計る。
- ・パッチワーク的に広がる宅地化農地、生産緑地が分布する地区（大谷女子大学南部地区）は、面的整備手法を適用し、農業と住環境の両立をめざす。

### (4) 今後の課題

- ・滝谷不動駅、川西駅周辺は、防災的な問題が面的に広がっている地区であるが、拠点としてのポテンシャルを持った地区でもある。まちづくりを考える際には、中南部地域全体で将来像を考慮しながら取り組めるような手法が望ましい。地区計画等を用いて、できるところから実現するというスタンスがふさわしい。生活道路・一時避難場所等要整備地区として位置づけられた地区も含めて、計画策定に向けた住民組織の立ち上げが急がれる。
- ・嶽山周辺の自然災害の危険が想定される地区では、ソフト面も含めて、一時避難場所等の整備を体系的に考えていかねばならない。
- ・嶽山、金胎寺山、彼方等における民有緑地の保全策は、緑の基本計画等のなかで検討すべき課題である。



# 地域別方針図 [中南部地域]



|                        |  |
|------------------------|--|
| 住宅ゾーン                  |  |
| 低層住宅エリア                |  |
| 中低層住宅エリア               |  |
| 中高層住宅エリア               |  |
| 計画的開発地                 |  |
| 住環境の保全(建築協定締結地区)       |  |
| 旧集落地                   |  |
| 商業ゾーン                  |  |
| 商業・業務集積エリア             |  |
| 住宅・商業複合エリア             |  |
| 工業ゾーン                  |  |
| 工業施設集積エリア              |  |
| 住宅・工業複合エリア             |  |
| 沿道サービスゾーン              |  |
| 農業ゾーン                  |  |
| 農用地としての保全エリア           |  |
| その他農地の保全・活用エリア         |  |
| 緑地ゾーン                  |  |
| 自然保全エリア                |  |
| 公園・レクリエーション環境の保全・創出エリア |  |
| 斜面緑地等の保全・活用エリア         |  |
| 土地利用方針・整備手法検討ゾーン       |  |
| 市街化区域界                 |  |
| 都市の骨格となる道路             |  |
| (完成)                   |  |
| (計画)                   |  |
| 地区の骨格となる道路             |  |
| (完成)                   |  |
| (計画)                   |  |
| 生活道路                   |  |
| 鉄道                     |  |
| 歩行者・自転車ネットワーク          |  |
| 公園・緑地                  |  |
| (完成)                   |  |
| (計画)                   |  |
| 主な水面(石川、ため池等)          |  |
| 地域核等拠点地区               |  |
| 生活道路、一時避難場所等要整備地区      |  |
| 要面的整備地区                |  |
| 主要公共施設等施設              |  |
| 指定避難場所                 |  |
| 歴史・文化資源                |  |
| 保存樹林・保存樹木              |  |
| レクリエーション施設             |  |
| 主な山頂                   |  |

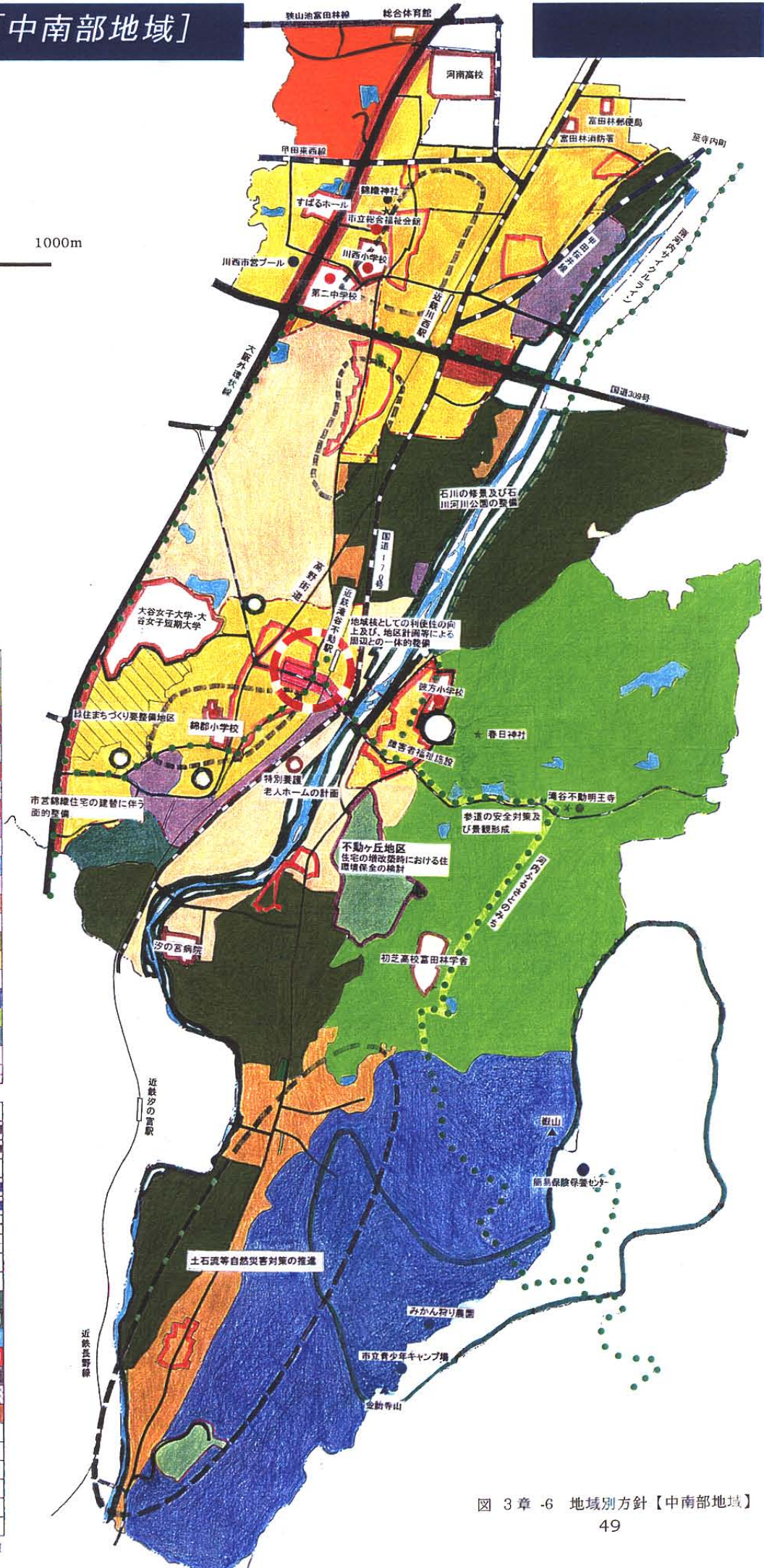


図 3 章 -6 地域別方針【中南部地域】

※凡例についての詳細は専末(p.58, p.59)を参照

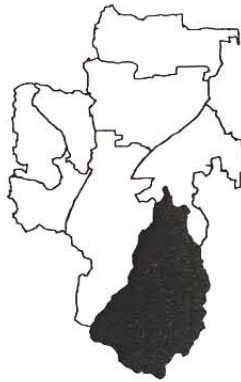


## 5 東南部地域

### (1) 地区の現状と特性

南北に丘陵地が連なり、中央の甘南備川向線、竜泉1号線あたりの佐備川の谷あいと比較的平坦になっている。集落地は、小規模なものがそれらの地区の骨格となる道路に房状に連なっている。人口は約3千人で8地区中最も少ない。

土地利用としては、農村が広大に広がり、農地山林が地域の大半を占めている。また、地区南部には、龍泉寺や楠妣庵などの歴史的な文化財が分布する一方、近年では、農業公園やスポーツ公園等の広域的なレクリエーション施設の整備が進んでいる。



#### ◆地域の名所、風景

遠景の金剛山系、近景・中景の田園風景、サバーファーム、総合スポーツ公園、嶽山・金胎寺山、龍泉寺、楠妣庵観音寺

#### ◆ゾーン区分

- ・農業ゾーン
- ・旧集落地
- ・自然保全エリア
- ・公園・レクリエーション環境の保全・創出エリア

### (2) 代表的な市民意見

- ・竜泉1号線の早期整備（河内長野市中心部への利便性の向上のため）
- ・府道甘南備川向線の交通安全対策（歩道の早期整備）
- ・東西に抜ける新たな幹線道路の整備
- ・農村集落地の生活道路（公道、私道）の整備
- ・総合スポーツ公園等3公園までのバス等の公共交通の整備
- ・コミュニティプラントや公共下水道の整備
- ・ごみ焼却場が設置されていることから、ダイオキシン対策の検討

### (3) 整備の方針

#### ●まちづくりの目標

「河内のふるさと」として、農地、山林の自然的環境を活かしたレクリエーションゾーンの形成を図る。そのため、アクセス道路等の基盤施設整備や集落地の生活環境の改善、土石流や崖崩れ等の土砂災害等の危険箇所については、防災対策を進める。

#### ●まちづくりの方針

##### ①生活利便性の向上の推進

- ・国道309号、竜泉1号線、甘南備川向線等整備による他地域との連携の強化
- ・森屋狭山線、東阪三日市線の交通安全対策検討
- ・他地域、他市（河内長野市）及び広域レクリエーション拠点への公共アクセスの確保

##### ②生活の安全性、利便性の向上

- ・集落地の生活道路の改善
- ・自主防災組織を活かした防災体制の継続、強化

##### ③市街化調整区域の土地利用の保全と整備

- ・金胎寺山、嶽山一帯の自然環境の保全及び特殊公園としての整備の検討
- ・金胎寺山、嶽山一帯の土砂災害等の防災対策
- ・近郊農業地帯の良好な農業環境の保全、整備
- ・市街化調整区域における土地利用のあり方の検討

##### ④景観要素としての修景保全

- ・田園風景の保全
- ・河内ふるさとのみちの修景整備
- ・自然環境としての龍泉寺、楠妣庵観音寺の保存樹木の保存

### (4) 今後の課題

- ・将来的に農業、農村の生活環境を守るためには、近隣商店等日常生活に最低限必要な施設や採算性のとれた農業経営を継続するためのまとまった農地を担保する必要がある。そのためには、市街化調整区域内での秩序ある土地利用誘導方策を検討する必要がある。
- ・ハード面での防災対策が必要な一方で、ソフト面で小規模な集落のまとまりを生かした自主防災体制が備わっているのは、非常に有効である。しかし農村の高齢化が進むなかで、今後もその実質的な機能を維持するのは困難である。生活の利便性だけではなく、非常時の防災面での他地域、他市との連携をも併せて強化する必要がある。



# 地域別方針図 [東南部地域]

|                        |  |                   |  |
|------------------------|--|-------------------|--|
| 住宅ゾーン                  |  | 都市の骨格となる道路        |  |
| 低層住宅エリア                |  | (完成)              |  |
| 中低層住宅エリア               |  | (計画)              |  |
| 中高層住宅エリア               |  | 地区の骨格となる道路        |  |
| 計画的開発地                 |  | (完成)              |  |
| 住環境の保全(建築協定締結地区)       |  | (計画)              |  |
| 旧集落地                   |  | 生活道路              |  |
| 商業ゾーン                  |  | 鉄道                |  |
| 商業・業務集積エリア             |  | 歩行者・自転車ネットワーク     |  |
| 住宅・商業複合エリア             |  | 公園・緑地             |  |
| 工業ゾーン                  |  | (完成)              |  |
| 工業施設集積エリア              |  | (計画)              |  |
| 住宅・工業複合エリア             |  | 主な水面(石川、ため池等)     |  |
| 沿道サービスゾーン              |  | 地域核等拠点地区          |  |
| 農業ゾーン                  |  | 生活道路、一時避難場所等要整備地区 |  |
| 農用地としての保全エリア           |  | 要面的整備地区           |  |
| その他農地の保全・活用エリア         |  | 主要公共公益等施設         |  |
| 緑地ゾーン                  |  | 指定避難場所            |  |
| 自然保全エリア                |  | 歴史・文化資源           |  |
| 公園・レクリエーション環境の保全・創出エリア |  | 保存樹林・保存樹木         |  |
| 斜面緑地等の保全・活用エリア         |  | レクリエーション施設        |  |
| 土地利用方針・整備手法検討ゾーン       |  | 主な山頂              |  |
| 市街化区域界                 |  |                   |  |

※凡例についての詳細は専末(p.59, p.59)を参照

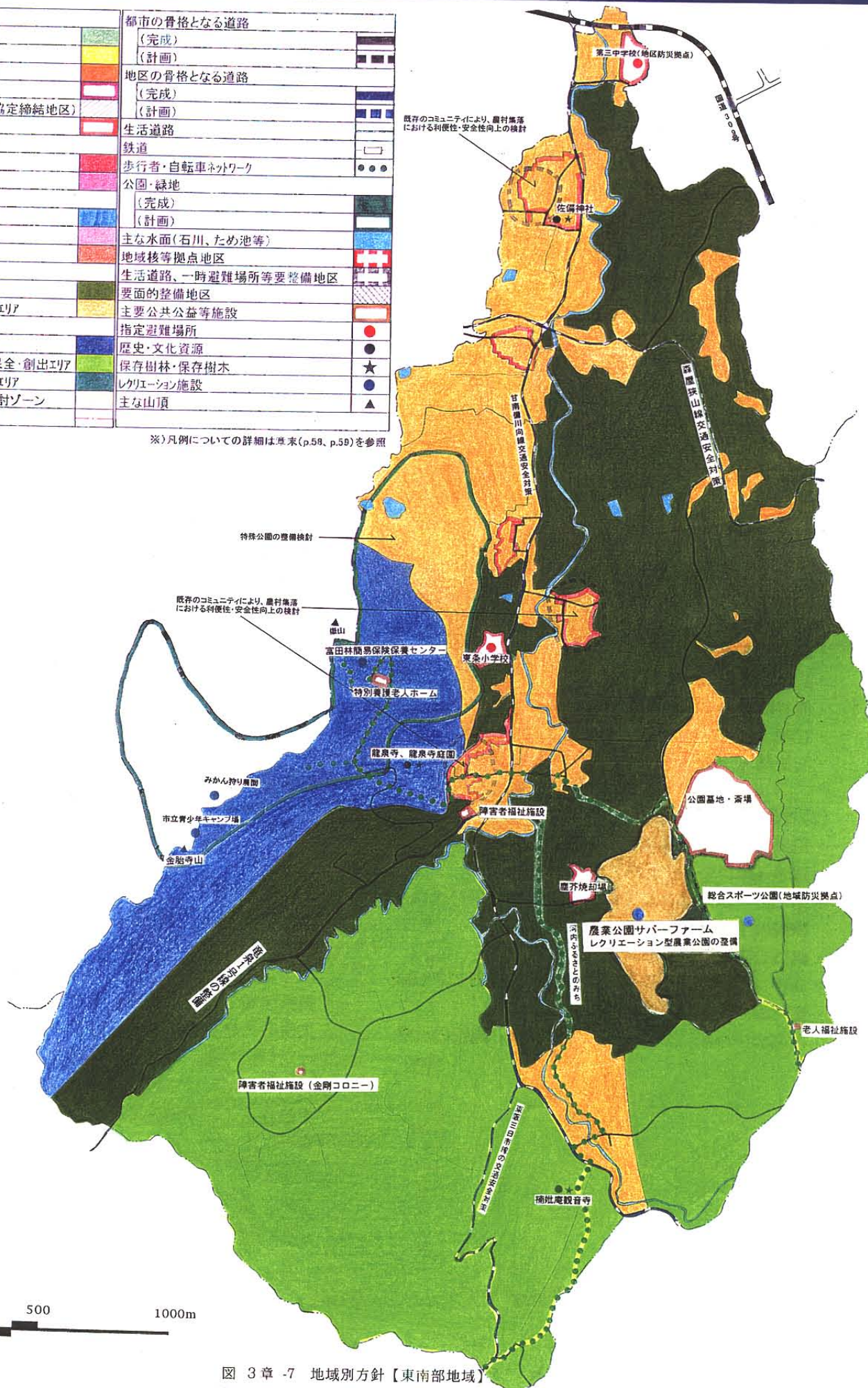


図 3 章 -7 地域別方針 [東南部地域]



## 6 西南部地域

### (1) 地区の現状と特性

南部の府道富田林・泉大津線沿いと北部の金剛東団地に隣接する旧集落地区が市街化区域で、中央部は錦織公園などの市街化調整区域となっている。区域全般が起伏に富み、樹林地などが多く残っている。人口は約6千人で、増加傾向にあり、金剛伏山台地区の開発に伴いさらなる増加が見込まれる。

滝谷駅周辺は古くからの市街地として、商業施設やサービス施設が立地している。地域の生活の拠点の役割を果たしてきたが、利便性において住民の不満がみられる。

#### ◆地域の名所、風景

錦織公園、遠景の金剛山系、甘山古墳

#### ◆ゾーン区分

- ・錦織公園
- ・丘陵部の住宅開発団地
- ・滝谷駅周辺の混在市街地
- ・丘陵、緑地ゾーン
- ・旧集落地

### (2) 代表的な市民意見

- ・旧集落地における利便性、防災性を考慮した生活道路（細街路、中街路）の整備
- ・南北の幹線道路として河内長野美原線のバイパス整備の早期実現
- ・錦織公園へのアクセス道路の整備
- ・レインボーバスの路線検討等、市役所等公共施設までのアクセシビリティの向上
- ・西部の中心部に公園及びコミュニティ施設の設置



### (3) 整備の方針

#### ●まちづくりの目標

錦織公園をはじめ起伏に富んだ地形を活かし、住宅市街地として、地区幹線道路の整備や身近なコミュニティ施設の整備を図る。

#### ●まちづくりの方針

##### ①地域核としての滝谷駅周辺の整備

- ・旧集落地の生活道路等の修復的整備と地域核としての拠点整備、アクセス道路整備を一体として検討

##### ②都市基盤施設の整備の促進

- ・府道河内長野美原線のバイパス整備により、他地域との連携強化を図る。
- ・広く市民の公園としての錦織公園の整備促進（都市計画公園の完成、周辺道路、駐車場等の整備によるアクセシビリティの向上）
- ・錦織公園を河内ふるさとのみちのネットワークのなかで位置づけ、緑の拠点から緑の線へつなげる

##### ③既成市街地での住環境整備

- ・甘山、伏山地区での生活道路等、一時避難場所等の整備手法検討
- ・福祉施設、医療施設の充実

##### ④市街化調整区域内住宅団地の住環境の保全（建築協定、地区計画等）

##### ⑤景観要素としての修景保全

- ・河内ふるさとのみちの修景整備

##### ⑥史跡公園の整備

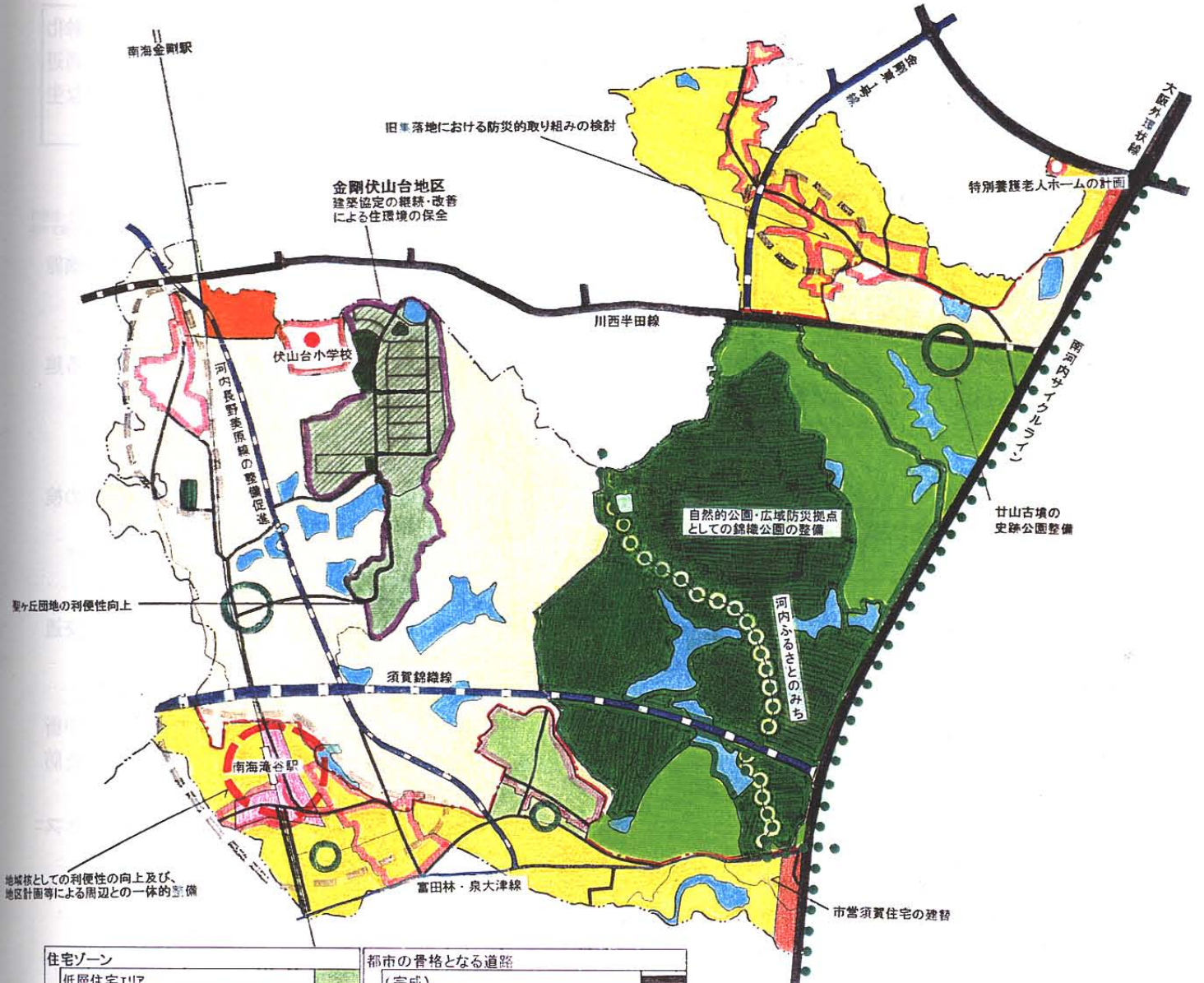
- ・甘山古墳を保存し、歴史学習の場として史跡公園を整備

### (4) 今後の課題

- ・当該地区には、生活道路・一時避難場所等要整備地区として挙げられる地区に、甘山、伏山、須賀の3地区がある。これらは、市街化区域・市街化調整区域等、それぞれに異なった市街地履歴（そのまちの歴史）を有し、整備手法としても一様ではない。今後、それらの地区の将来像を明確にしていくためには、住民の中で将来像を検討する場を設けることが先決である。



# 地域別方針図 [西南部地域]



|                         |  |                   |  |
|-------------------------|--|-------------------|--|
| <b>住宅ゾーン</b>            |  | <b>都市の骨格となる道路</b> |  |
| 低層住宅エリア                 |  | (完成)              |  |
| 中低層住宅エリア                |  | (計画)              |  |
| 中高層住宅エリア                |  | <b>地区の骨格となる道路</b> |  |
| 計画的開発地                  |  | (完成)              |  |
| 住環境の保全(建築協定締結地区)        |  | (計画)              |  |
| 旧集落地                    |  | <b>生活道路</b>       |  |
| <b>商業ゾーン</b>            |  | 鉄道                |  |
| 商業・業務集積エリア              |  | 歩行者・自転車ネットワーク     |  |
| 住宅・商業複合エリア              |  | 公園・緑地             |  |
| <b>工業ゾーン</b>            |  | (完成)              |  |
| 工業施設集積エリア               |  | (計画)              |  |
| 住宅・工業複合エリア              |  | 主な水面(石川、ため池等)     |  |
| <b>沿道サービスゾーン</b>        |  | 地域核等拠点地区          |  |
| <b>農業ゾーン</b>            |  | 生活道路、一時避難場所等要整備地区 |  |
| 農用地としての保全エリア            |  | 要面的整備地区           |  |
| その他農地の保全・活用エリア          |  | 主要公共公益等施設         |  |
| <b>緑地ゾーン</b>            |  | 指定避難場所            |  |
| 自然保全エリア                 |  | 歴史・文化資源           |  |
| 公園・レクリエーション環境の保全・創出エリア  |  | 保存樹林・保存樹木         |  |
| 斜面緑地等の保全・活用エリア          |  | レクリエーション施設        |  |
| <b>土地利用方針・整備手法検討ゾーン</b> |  | 主な山頂              |  |
| <b>市街化区域界</b>           |  |                   |  |

※) 凡例についての詳細は章末(p.58、p.59)を参照

0 100 500 1000m



図 3 章 -8 地域別方針【西南部地域】

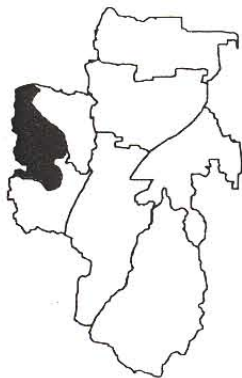


## 7 金剛地域

### (1) 地区の現状と特性

良好な住宅地である金剛団地と農村集落が混在した旧集落地により構成され、人口は約27千人でほぼ横ばい状態である。

金剛団地は昭和40年代前半に開発され25年以上を経過し、居住者も高齢化してきている。団地内の道路、公園等の整備水準は高く、居住者の満足度は高いが、高齢化に伴い高齢者福祉施設の拡充やバリアフリー化等新たな課題も出てきている。地区北部の五軒家、加太地区は、近年戸建住宅やマンションなどが混在してきている。



#### ◆地域の名所、風景

錦織公園、遠景の金剛山系、寺池公園、金剛中央線（ふれあい大通り）

#### ◆ゾーン区分

- ・金剛地区センター
- ・中高層住宅エリア
- ・低層住宅エリア
- ・旧集落地
- ・寺池公園

### (2) 代表的な市民意見

- ・生活道路の改修や交通安全対策、通過交通対策（狭山池富田林線が混雑することによる）
- ・金剛地区と市の中心部を結ぶ公共交通の整備
- ・利用者の利便性を考慮した複合的な機能をもつ金剛連絡所の建替
- ・シニアタウン化している中で、小学校の空き教室を利用した施設の整備
- ・夜の公園を明るくすることにより防犯対策をする
- ・金剛駅の駐輪場の整備
- ・ソフト面に関する方針が必要
- ・電磁波や大気汚染の問題を取り上げ、公害のないまち、安全で快適なまちづくりのための対策
- ・今まで市民の要望を聞く場がなかった。この機会に市民の納得する行政を望む。
- ・大地震に備え、机上のプランでなく実効性のある避難経路等の設定

### (3) 整備方針

#### ●まちづくりの目標

金剛団地の良好な住環境保全を図ると共に、高齢化に対応した施設整備の誘導やサービスを図る。周辺の既成市街地は、駅へのアクセス道路等の主要な生活道路の整備を図る。

#### ●まちづくりの方針

##### ①市域西部の拠点、副核の形成

- ・金剛連絡所の建替拡充により、副核としての機能の充実を図る

##### ②良好な住環境の保全とグレードの向上

- ・金剛団地の計画的土地利用の保全を目的とする建築協定、地区計画等方策の検討
- ・生産緑地地区の位置づけと活用方法の検討

##### ③高齢化対策の検討

- ・高齢化にともなう防災・福祉・医療環境整備の検討
- ・既存施設を利用したソフト面での福祉の充実

##### ④道路施設の整備

- ・狭山池富田林線の渋滞緩和、生活道路の通過交通解消をにらんだ狭山河南線の早期整備

##### ⑤地区北部（五軒家、加太地区）の環境整備

- ・旧集落地及び既成市街地で防災面を考慮した中街路の拡幅整備と校区等での既存組織を活かした防災対策の検討。
- ・南海狭山遊園前駅、金剛駅等へのアクセス向上の為の道路整備
- ・まとまった面積の宅地化農地地区（緑住まちづくりの要整備地区）の良好な開発誘導。

### (4) 今後の課題

- ・五軒家、加太地区を中心とする市街地では、近年中高層マンションの建設により戸建住宅とマンションの共生など、様々な価値観が共生していかなければならない状況が起きている。特に生活道路事情への影響を懸念する声が地元住民の間で起きており、道路整備の必要性などが高まってきている。また地区の利便性や安全性を向上させるような策を検討する必要がある。
- ・金剛団地においては、高齢化に対する具体的なハード面での整備とソフト面での対策を行っていかなければならない



# 地域別方針図 [金剛地域]

|                         |  |                   |
|-------------------------|--|-------------------|
| <b>住宅ゾーン</b>            |  | 都市の骨格となる道路        |
| 低層住宅エリア                 |  | (完成)              |
| 中低層住宅エリア                |  | (計画)              |
| 中高層住宅エリア                |  | 地区の骨格となる道路        |
| 計画的開発地                  |  | (完成)              |
| 住環境の保全(建築協定締結地区)        |  | (計画)              |
| 旧集落地                    |  | 生活道路              |
| <b>商業ゾーン</b>            |  | 鉄道                |
| 商業・業務集積エリア              |  | 歩行者・自転車ネットワーク     |
| 住宅・商業複合エリア              |  | 公園・緑地             |
| <b>工業ゾーン</b>            |  | (完成)              |
| 工業施設集積エリア               |  | (計画)              |
| 住宅・工業複合エリア              |  | 主な水面(石川、ため池等)     |
| <b>沿道サービスゾーン</b>        |  | 地域核等拠点地区          |
| <b>農業ゾーン</b>            |  | 生活道路、一時避難場所等要整備地区 |
| 農用地としての保全エリア            |  | 要面的整備地区           |
| その他農地の保全・活用エリア          |  | 主要公共公益等施設         |
| <b>緑地ゾーン</b>            |  | 指定避難場所            |
| 自然保全エリア                 |  | 歴史・文化資源           |
| 公園・レクリエーション環境の保全・創出エリア  |  | 保存樹林・保存樹木         |
| 斜面緑地等の保全・活用エリア          |  | レクリエーション施設        |
| <b>土地利用方針・整備手法検討ゾーン</b> |  | 主な山頂              |
| 市街化区域界                  |  |                   |

※) 凡例についての詳細は章末(p.58, p.59)を参照

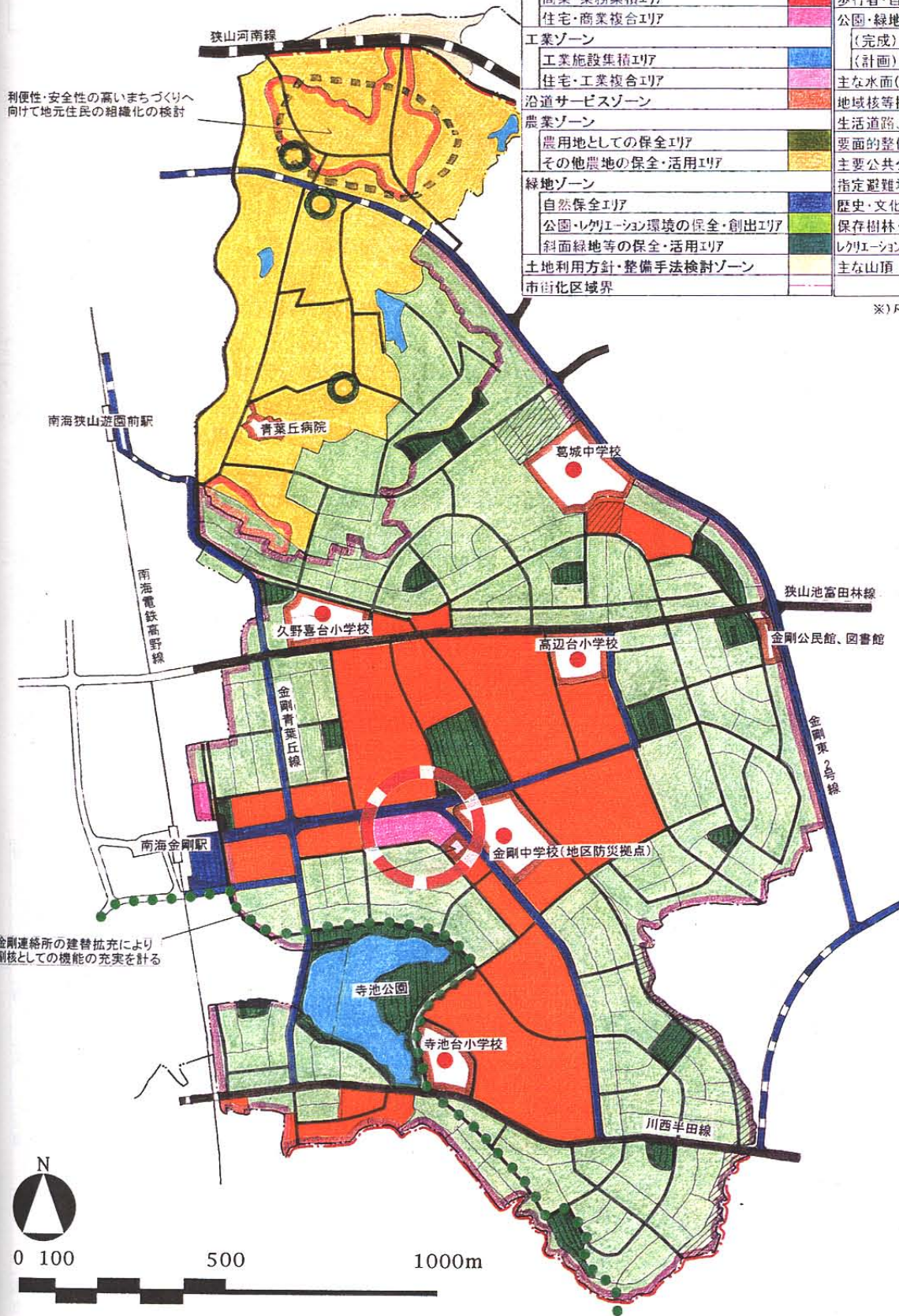


図 3 章 -9 地域別方針【金剛地域】



## 8 金剛東地域

### (1) 地区の現状と特性

公団取得用地は段階的な住宅供給が進んでおり、民有地に換地された地区は住宅用地と生産緑地が混在している。人口は現況約16千人で近年急激に増加している。計画人口は30千人で、建設予定の未利用地が未だ残っている。

国道309号と狭山池富田林線の交差するブロックは、金剛東地区センターとして位置づけられており、地区住民のみならず市域的に利用されるショッピングセンター、公園等が配置されている。地区センターの南半分は人口増加や地域の熟成に応じて施設供給の予定である。

道路や公園などの都市基盤施設の居住者の満足度は高く、地区中央部を周回するりぼんどおりは高い評価を得ている。また、団地北東部には、富田林病院やけあばる等の市域を対象にした医療・福祉施設が集積している。

#### ◆地域の名所、風景

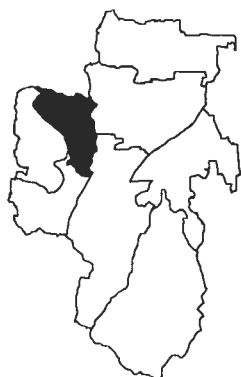
錦織公園、遠景の金剛山系、りぼんどおり、明治池公園

#### ◆ゾーン区分

- ・金剛東地区センター
- ・中高層住宅エリア
- ・低層住宅エリア
- ・医療福祉施設が集積するシビックゾーン
- ・明治池公園

### (2) 代表的な市民意見

- ・子供の数が多い地区であるため、子供に重点を置いた教育、福祉施設等を強化
- ・バスの利便性の向上
- ・住環境保全、自然が残されたニュータウンづくり（池等の自然保全）
- ・教育やコミュニティについて情報のネットワーク化
- ・防災を考慮し、校区割りをコミュニケーションの取りやすいものとする
- ・東南部の3公園までの公共交通の整備



### (3) 整備の方針

#### ●まちづくりの目標

質の高い住宅、豊かな緑やゆとりのある歩行者専用道路など優れた住環境を維持していく。地区センター及びその周辺では地域核として、魅力ある市街地の熟成を図る。

#### ●まちづくりの方針

##### ①金剛東地区センターの地域核としての形成

- ・地区センター南ブロックでは、人口増加状況及び施設需要を考慮しつつ、施設供給、サービスの検討を行う。

##### ②良好な住環境の保全とグレードの向上

- ・建築協定のある地区での協定継続や民有地を住宅地とした場合等の新規区域の協定締結により、すぐれた住環境や景観の保全に努める。
- ・開設公園の適切な維持管理
- ・住環境保全を意識した美原町の大阪木材工場団地との緑のカーテンとしての斜面緑地の保全と活用の検討
- ・生産緑地地区の位置づけと活用方法の検討

##### ③福祉的配慮の推進

- ・区域東部の福祉・医療集積地区の「福祉のまちづくり重点整備地区」としての設定と誘導
- ・公園、道路等の誘導ブロックや段差の切り下げなどバリアフリー化の推進

##### ④道路施設の整備

- ・狭山池富田林線の渋滞緩和、生活道路の通過交通解消をにらんだ狭山河南線の早期整備

##### ⑤継続的な地域コミュニティの育成

- ・住民の自主的なまちづくりやコミュニティ活動の誘導

### (4) 今後の課題

- ・現在の約2倍の人口を計画している地区として、交通渋滞の緩和や住宅用地の在り方等が重要である。バスなどの公共交通利用の充実によるマイカー利用の抑制の誘導を行ったり、教育、福祉、レクリエーション施設等の段階的供給が必要になってくるだろう。
- ・建築協定締結地区では、協定の継続時に、住民が主体となって、地区計画の指定を検討する必要がある。



# 地域別方針図 [金剛東地域]



|                        |  |                   |  |
|------------------------|--|-------------------|--|
| 住宅ゾーン                  |  | 都市の骨格となる道路        |  |
| 低層住宅エリア                |  | (完成)              |  |
| 中低層住宅エリア               |  | (計画)              |  |
| 中高層住宅エリア               |  | 地区の骨格となる道路        |  |
| 計画的開発地                 |  | (完成)              |  |
| 住環境の保全(建築協定締結地区)       |  | (計画)              |  |
| 旧集落地                   |  | 生活道路              |  |
| 商業ゾーン                  |  | 鉄道                |  |
| 商業・業務集積エリア             |  | 歩行者・自転車ネットワーク     |  |
| 住宅・商業複合エリア             |  | 公園・緑地             |  |
| 工業ゾーン                  |  | (完成)              |  |
| 工業施設集積エリア              |  | (計画)              |  |
| 住宅・工業複合エリア             |  | 主な水面(石川、ため池等)     |  |
| 沿道サービスゾーン              |  | 地域核等拠点地区          |  |
| 農業ゾーン                  |  | 生活道路、一時避難場所等要整備地区 |  |
| 農用地としての保全エリア           |  | 要面的整備地区           |  |
| その他農地の保全・活用エリア         |  | 主要公共公益等施設         |  |
| 緑地ゾーン                  |  | 指定避難場所            |  |
| 自然保全エリア                |  | 歴史・文化資源           |  |
| 公園・レクリエーション環境の保全・創出エリア |  | 保存樹林・保存樹木         |  |
| 斜面緑地等の保全・活用エリア         |  | レクリエーション施設        |  |
| 土地利用方針・整備手法検討ゾーン       |  | 主な山頂              |  |
| 市街化区域界                 |  |                   |  |

※) 凡例についての詳細は章末(p.58、p.59)を参照

0 100 500 1000m



1000m



表 3 章 -1 地域別方針図凡例 [土地利用系]

|                      |                            |   |
|----------------------|----------------------------|---|
| 住宅<br>ゾーン            | 低層住宅エリア                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な戸建住宅団地を中心とする市街地</li> <li>・低層の公的住宅団地、戸建一般住宅団地</li> </ul>                 |
|                      | 中低層住宅エリア                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な住宅タイプが混在する一般市街地</li> </ul>   |
|                      | 中高層住宅エリア                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な中高層の住宅団地を中心とする市街地</li> <li>・中高層の公的住宅団地、共同住宅集積地</li> </ul>               |
|                      | 計画的開発地                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地開発事業、公的・民間により大規模開発（おおむね 1ha 以上）された団地</li> </ul>                          |
|                      | 住環境の保全                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築協定締結地区</li> </ul>   |
|                      | 旧集落地                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・古くから存在するまとまった集落地</li> </ul>   |
| 商業<br>ゾーン            | 商業・業務集積<br>エリア             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業系用途の施設がまとまって立地し、商業・業務の利便性を図る市街地</li> </ul>                                |
|                      | 住宅・商業複合<br>エリア             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅と商業系用途の施設が混在して立地あるいは商業系用途との併用住宅がまとまって立地し、近隣の住民の商業・業務の利便性を図る市街地</li> </ul> |
| 工業<br>ゾーン            | 工業施設集積<br>エリア              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模工場及びその関連施設などがまとまって立地し、工業の利便性を図る市街地</li> </ul>                            |
|                      | 住宅・工業複合<br>エリア             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅と中小工場が混在して立地、あるいは工業系併用住宅がまとまって立地し、工業の利便性を図る市街地</li> </ul>                 |
| 沿道サービスエリア            |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地における大阪外環状線及び大阪千早線の沿道サービス施設エリア</li> </ul>                                 |
| 農業<br>ゾーン            | 農用地としての<br>保全エリア           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興地域内における農用地指定を受けているエリア</li> </ul>  |
|                      | その他農地の<br>保全・活用エリア         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化調整区域内におけるまとまった農地のエリア</li> </ul>  |
| 緑地<br>ゾーン            | 自然保全エリア                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災や緑地等の保全を考慮し、市街地開発を規制し自然を保全するエリア</li> </ul>                                |
|                      | 公園・レクリエーション<br>環境の保全・創出エリア | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を維持すると共に市民のゆとりの場や観光資源として保全・活用するエリア</li> </ul>                           |
|                      | 斜面緑地等の<br>保全・活用エリア         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地周辺において、住環境の保全や自然保全を目的とする緑地の保全・活用エリア</li> </ul>                           |
| 土地利用方針・整備手法<br>検討ゾーン |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化調整区域内において、農地や山林等の自然的土地利用と計画的な市街地開発との調和を図るため、個々に土地利用を検討</li> </ul>        |
| 市街化区域界               |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化区域、市街化調整区域との境界</li> </ul>  |



表 3章 -2 地域別方針図凡例 [施設・拠点系]

|                   |    |  |  |
|-------------------|----|--|--|
| 都市の骨格となる道路        |    | 完成   | ・大阪都市部や奈良県、和歌山県を結ぶ広域幹線道路、隣接市町村を結ぶ都市幹線道路の整備済路線                            |
|                   |    | 計画   | ・大阪都市部や奈良県、和歌山県を結ぶ広域幹線道路、隣接市町村を結ぶ都市幹線道路の計画路線（計画幅員としては未整備であるが、現道があるものも含む） |
| 地区の骨格となる道路        |    | 完成   | ・市内各地域や地区を結ぶ地区幹線道路の整備済路線   |
|                   |    | 計画   | ・市内各地域や地区を結ぶ地区幹線道路の計画路線（計画幅員としては未整備であるが、共用開始しているものを含む）                   |
| 生活道路              |    | ・通勤、通学、買い物など日常生活において利用する主な道路                                       |  |
| 鉄道                |    | ・近鉄長野線、南海高野線   |  |
| 歩行者・自転車ネットワーク     |    | ・河内ふるさとのみち、りぼんどおり（歩行者専用道）、南河内サイクルライン等の自転車、歩行者道や水辺のみちの整備を図る散策ネットワーク |  |
| 公園・緑地             | 完成 | ・都市計画公園や緑のマスタープランにより位置づけられた広域、近隣、住区などの整備済公園                        |  |
|                   | 計画 | ・都市計画公園及び緑のマスタープランにより位置づけられた広域、近隣、住区などの計画公園                        |  |
| 主な水面（石川、ため池等）     |    | ・主な河川、ため池等   |  |
| 地域核等拠点地区          |    | ・駅前や地区センターなど、地域の中心的役割を担う地区   |  |
| 生活道路、一時避難場所等要整備地区 |    | ・防災上、道路拡幅及び避難場所の確保が必要であると想定される地区                                   |  |
| 要面的整備地区           |    | ・市街地再開発事業や緑住まちづくり整備事業、区画整理事業などの面的整備を検討する地区                         |  |
| 主要公共公益等施設         |    | ・幼、小、中、高等学校、官公署、福祉施設など   |  |
| 指定避難場所            |    | ・主に小学校、中学校といった災害時における避難場所（地区防災拠点を含む）                               |  |
| 歴史・文化資源           |    | ・寺社仏閣、指定文化財等   |  |
| 保存樹林・保存樹木         |    | ・歴史的、学術的、景観的価値がある市指定の樹林、樹木   |  |
| レクリエーション施設        |    | ・市域、市域外から利用されている比較的大規模なレクリエーション施設                                  |  |
| 主な山頂              |    | ・嶽山、金胎寺山の山頂  |  |